

えんだよい

2022年

6月号



NO.195

シャローム三育保育園

本格的に夏野菜の栽培が始まりました。一足先に種芋を植えたジャガイモは茎も太く、葉もとても大きく育ちました。否応なく土の中の期待が高まっています。20株程度ですが同じ土に植えたのにそれぞれに生長の仕方が違うのですから、農家さんの苦労は計りがたいですね。今年の梅雨はどうでしょうか。一生懸命お世話をして天候には逆らえませんが、育てた野菜をおいしく食べる事ができますように願っています。

園長 村上 渉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 懇談会 (0歳児)	4
5	6 礼拝 英語教室	7 体操教室	8 避難訓練	9	10 懇談会 (1歳児) 尿検査 (3.4.5歳児)	11
12	13 礼拝 英語教室	14 体操教室	15	16	17 懇談会 (2歳児)	18
19	20 礼拝 英語教室	21 体操教室	22	23	24 懇談会 (3歳児) 保育園職員会議	25
26	27 礼拝	28 体操教室	29 誕生会	30		

「捨てればゴミ、生かせば資源」

今年度、職員の園内研修の一環でSDGsについて理解を深める取り組みを行っています。先日は横浜市資源循環局瀬谷事務所の方に来ていただき、ゴミの分別やリサイクルについて学びました。特に印象に残った事をお伝えしたいと思います。

◇自治体によって分別が異なる理由

ゴミ処理については各自治体に任されている為、自治体の規模や業者の処理方法、最終処分場の処理能力等により分別の種類や処理方法が異なるそうです。

◇最終処分場

ゴミを焼却した後に出る“灰”は最終処分場に運ばれます。横浜市の処理能力は約50年分だそうです。新しく処分場を造るには申請に10年以上、建設にも10年近くかかり、数百億円の税金が使われるそうです。この灰を減らすためにも分別とリサイクルが必要なのですね。

◇リサイクル

・ペットボトル：キャップやラベルを外す事はリサイクルコストの削減に繋がります。

・紙：紙にもランクがあり上位から牛乳パック、コピー用紙、新聞紙の順で、最後はお菓子の箱になるそうです。紙リサイクルの天敵は糊や油分でセロテープやクレヨン、マジックなどを使用したものはリサイクルには不向きです。

・衣類：リサイクル衣類は主に東南アジア等の発展途上国に届けられます。特に下着類はとても需要が高いそうです。

リサイクルに大切な事は「汚れを少なくする事」です。リサイクル処理は汚れが少ないほど質も精度も上がり、コスト削減に繋がれば税金も安くなるかもしれませんね。

「捨てればゴミ、生かせば資源」です。みんなが住みやすい環境を将来に残すためにも「今、できる事」から始めましょう。

